

無憂樹

十人十色

9月になり、ようやく朝晩は

少し過ぎしやすくなったようです。しかしまだまだ暑いですね、

体調には気を付けていきたいものです。

8月はパリオリンピックが開催されました。競技をテレビで見ると寝不足になられた方も多いのではないのでしょうか、私も選手の皆さんの頑張っている姿に多くの感動をもらいました。その中で忘れられない競技があります。今回からはじめておこなわれたダンスのブレイキン

令和6年9月号

浄尊寺
熊本市西区田崎
1-4-39
TEL・FAX
096-354-6530



です。音楽にあわせて1対1でダンスをして勝負を決める競技ですが、なぜ忘れられないかというところ、出場している選手みんな楽しんでる姿がありました。相手が踊っている時も応援しているみたい楽しんでいて、勝った選手も負けた選手も終わったら後は笑顔で相手を讃えています。見ているこちらまで楽しい気持ちにさせてもらいました。ブレイキン女子では日本の湯浅亜美さん(ダンサー)名AM

「Iが金メダルをとりました。湯浅亜美さんはインタビューで「参加している全員でブレイキンの良さを見せられた。勝ち負けだけではない、十人十色でみんながいいんだ」と言われました。オリンピックを勝った、負けたで見ている私には本当に頭が下がります。童謡詩人の金子みすゞさんの詩にこんな言葉があります。「私が両手をひろげてもお空はちつとも飛べないが飛べる小鳥は私のように地面を早くは走れない私がかからだをゆすつてもきれいな音は出ないけどあの鳴る鈴は私のようにたくさんの唄は知らないよ」

鈴と、小鳥と、それから私みんなちがつて、みんないい」鈴と小鳥と私は間違はなくそれぞれが全然違います。当たり前といえども前かもしれません。しかしそれぞれがそのままでかけがえのない存在、尊い命ということをおしえてくれます。金子みすゞさんは浄土真宗のみ教えを大切にされ仏さまのまなざしを通して多くの作品を残されました。私のまなざしはどうしても人や物を比べて生きておりますが、少しでもそれぞれの命がそれぞれそのまま輝く世界があり、それを認め合う仏さまのまなざしを、いただいて生きていきたいものです。